

単元名：

「パイプオルガンの響きを味わおう」

(フーガ ト短調)

(全2時間扱い中 第1時)

授業日時 2019年6月27日(木) 第6校時

授業学級 2年A組

授業会場 音楽室

授業者

指導者

(1) ねらい

生徒は、パイプオルガンについて理解し、響きを味わうことができる。

(2) 授業のポイント

・画像や動画の視聴を通して、パイプオルガンの特徴を理解できるようにする。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. バッハについて尋ね、『蟹のカノン』を視聴する	○「この人は誰かわかりますか？」 ★似顔絵を提示する ◇予想がつきそうになかったらヒントも提示する。 ○「正解は・・・バッハです！」 ★肖像画を提示する ○「彼が作った『蟹のカノン』という曲を紹介します。」 ★『蟹のカノン』の動画を視聴する ○「バッハは334年前に生まれて65歳で生涯を終えた人です」	6分
	2. 曲の冒頭部分を聞く	○「もう1曲、バッハが作曲した曲を聴いてみましょう。音色や音域に着目して聞いてみてください。」 ★『フーガ ト短調』の冒頭を流す ○「『蟹のカノン』と比べて、どんな音色でしたか？」 ○「音域はどうでしたか？」 ○「どんな楽器を使って演奏していると思いましたか？また、この曲は何人で演奏されていると思いますか？」 ○「この曲はパイプオルガンという楽器を使って1人で演奏されています」	5分
	問題：『フーガ ト短調』では、どんな楽器が使われているだろうか。また、何人で演奏されているだろうか。	○「パイプオルガンを見たことがある人はいますか？」 ★パイプオルガンの画像をP.Pで提示する	2分
	3. 使用されている楽器を紹介する		
	【学習課題】パイプオルガンの特徴をとらえ、その響きを味わおう！		
展開	4. 曲の動画を視聴する	○「パイプオルガンを実際に演奏しているところを観てみましょう」 ○「感じたことや気付いたことをワークシートに記入してみてください」 ★ワークシートを配布し、記入を促す ★ベートーヴェン作曲『トルコ行進曲』の動画を視聴する	9分

展開	5. パイプオルガンについて説明する	○「動画を観て感じたことや気付いたことはありますか？」 ○「パイプオルガンのしくみや歴史について説明します」 ★P.P（リコーダーを用いた図）を用いて、音のなるしくみを説明する ★P.P(ふいご式パイプオルガンの画像・動画)を用いて説明する ★拡大図で各名称を説明し、ワークシートに各部の名称を記入してもらう	15分
	6. パイプオルガンの内部の動画を視聴する	○「楽器の内部がどうなっているか観てみましょう」 ★楽器の内部の動画（～2'30）を観る ★ワークシートにパイプオルガンの構造のまとめを書くように促す ○「まとめたことを発表してください」 【評価（対象）】パイプオルガンについて感じ取ったことや気付いたことなどについて言葉を用いて表現することができる（ワークシート、発言）	8分
終末	7. 振り返りをする	○「今日の授業の感想をワークシートに記入してください」 ★ワークシートに記入を促す ○「今日の授業で感じたことを教えてください」 ◇ワークシートはコメントを書くため回収する	5分